東北学生バドミントン連盟

会　長　　北　見　正　伸

　東北学生バドミントン連盟として、あらためて皆さんに注意を喚起しておくことがあります。

いかなる領域分野や組織団体においても若者の果たす役割は重要であり、既成概念に囚われずに大きく変革させるエネルギーを秘めていると思います。ただし、そのエネルギーを活躍させる社会において重要なことは「礼節をわきまえた人格」と「法令順守」であることを忘れてはなりません。

　連日報道されている違法賭博問題では東北地方（福島県）に関わる選手が挙がっておりますが、彼はバドミントン競技そのものを愚弄しており、彼に東日本大震災や原発事故の被災者「フクシマ」を語る資格は一片もない。バドミントン技術は世界トップレベルであっても「人格は極めて稚拙」であることは明白であり、海外遠征や強化合宿等の経費が税金と多くの選手からの協会登録費で支援されていることすら自覚していなかったであろう。その背景には勝負に勝てば全てが許されるという「勝利至上主義」と「おごりの構図」があり、それが人間として肝心の「人格形成教育」を排除してしまった教育環境にあると思われます。

二度とこのような不祥事を起こさないためにも、彼をしてこのような選手に育て上げてしまったジュニア時代から今日までの教育指導体制に猛省を求めるとともに、東北学生バドミントン連盟自らもこの問題を対岸の火事として看過することなく、今後も「バドミントン競技を通した人格形成」を機軸とした活動を展開していきます。

皆さんも、東北学生バドミントン連盟が主催する各種大会において日頃鍛錬された技術力と精神力を遺憾なく発揮した熱戦を展開されるとともに、お互いの努力を認め合い「競争と協調の人間関係」を学ぶことによって今後の人間形成に多いに役立つことを期待いたします。